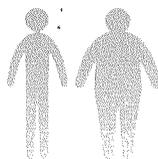


医療福祉のプロ  
がすすめる

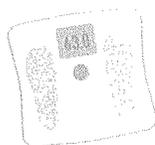
結城俊也 編



人生100年時代

の

「健康」を



問い直す1000冊



# 凡 例

## 1. 本書の内容

本書は、専門理学療法士であり医療福祉学の研究者である編者が最新のエビデンスに基づき、「人生100年時代」において自らの「健康」について問い直すヒントとなる図書を選択・分類し、更に理解を深めるために見出しに解説を加えたものである。

## 2. 見出しと解説

「健康について問い直す」「病気・老い・死について問い直す」「医学・医療を問い直す」の各章の下、71の見出しを設け、医学・社会・文化の総合的な視点から書かれた解説を掲載した。

## 3. 図書リスト

- 1) それぞれの見出しに関連する図書を掲載した。収録点数は1,153点である。
- 2) 図書は、編者の判断により各見出しの中でも内容が近い図書を集め排列した。

## 4. 図書の記述

書名／副書名／巻次／各巻書名／各巻副書名／各巻巻次／著者表示／版表示／出版地\*／出版者／出版年月／ページ数または冊数／大きさ／叢書名／叢書番号／副叢書名／副叢書番号／叢書責任者表示／定価(刊行時)／ISBN(Ⓛで表示)／目次／内容

\*出版地が東京の場合は省略した。

## 5. 索引

### (1) 著者名索引

各図書の著者・編者名を姓の五十音順、名の五十音順に排列し、その下に書名と掲載ページを示した。機関・団体名は全体を姓とみなして排列、欧文のものは五十音順の後にABC順に排列した。

### (2) 書名索引

各図書を書名の五十音順に排列し、所在を掲載ページで示した。

## 6. 書誌事項の出所

本目録に掲載した各図書の書誌事項等は主に次の資料に拠っている。

データベース「BookPlus」

JAPAN/MARC

## 目次

第1章 健康について問いなおす	3	日本における病いと健康法の歴史	78
健康とは何か/健康不安社会	3	病・老い・死に向き合う	81
健康とは何か/健康至上主義を問う	7	医者が病気になったとき	87
健康の基盤としての身体/身体論	9	死の哲学	91
健康の基盤としての身体/身体知	14	死生観/日本人の死生観	95
健康の基盤としての身体/社会学	19	死生観/私の死生観	99
健康の基盤としての身体/身体観の変遷	21	死生学	102
運動・スポーツと健康	23	死の迎え方/後悔しないために	104
健康の心理学	26	死の迎え方/死が怖い人へ	108
健康行動を引き出す	29	看取りという営み	110
自分の健康をコントロールするーヘルスプロモーション	32	老化と死のサイエンス	115
健康情報をやり取りするーヘルスコミュニケーション	34	トピック③ 感染症の歴史/総合・パンデミック	119
健康を守るための医者とのつき合い方	37	トピック③ 感染症の歴史/インフルエンザ	125
健康寿命を延ばす	42	トピック③ 感染症の歴史/ベスト	127
健康格差は存在するか/総論	46	トピック③ 感染症の歴史/コレラ	128
健康格差は存在するか/地域格差	49	トピック③ 感染症の歴史/小説・ノンフィクション	129
健康格差は存在するか/医師不足	50	第3章 医学・医療を問いなおす	131
健康格差は存在するか/つながり	50	医学・医療を問いなおす	131
健康経営が企業を伸ばす	51	臨床哲学	134
タバコと健康	55	臨床倫理・医療倫理/総論	137
清潔と健康の歴史	58	臨床倫理・医療倫理/看護倫理	142
トピック① 健康を守る免疫学/医学系・一般	60	臨床倫理・医療倫理/介護倫理	144
トピック① 健康を守る免疫学/一般	62	臨床倫理・医療倫理/認知症ケア	146
トピック② 良眠が健康のカギ	64	臨床倫理・医療倫理/意思決定支援	147
第2章 病気・老い・死について問いなおす	69	生命倫理/総論	149
病いとは何かー医療人類学	69	生命倫理/生殖・遺伝子操作・人間改造	153
政治や社会の力学と病気	74	安楽死・尊厳死	157
進化から見た病気	75	優生思想/総論	162
		優生思想/ナチス	166
		優生思想/相模原殺傷事件	167

医療の社会学/総論	170
医療の社会学/医療化・その他	172
物語と医療-ナラティブ・ベイス ト・メダイスン	173
公衆の生を守る/総論・公衆衛生学	177
公衆の生を守る/各国の公衆衛生史	179
トピック④ 情報リテラシー/科学リテラシー	181
トピック④ 情報リテラシー/ヘルスリテラシー	184
トピック④ 情報リテラシー/疑似科学の見抜き方	187
リスクと向き合う/安全と安心	191
リスクと向き合う/リスクコミュニケーション	193
医療と経済・政策/医療経済学	196
医療と経済・政策/日本医療の現状	198
医療と経済・政策/国際比較	204
医療危機・医療崩壊	206
医学の歴史/総合	209
医学の歴史/日本	214
医学の歴史/疾患の歴史	216
著者名索引	221
書名索引	263

## 第1章 健康について問いなおす

### 健康とは何か/健康不安社会

【解説】健康ブームという言葉がはやりだして久しい。毎日メディアからはこれでもかというくらい健康食品、健康グッズなどの情報が流れてくる。ではいったい健康とは何か。改めて問われると答えに窮する人も少なくないだろう。健康とはそれだけ曖昧なものと言えるのかもしれない。

例えば花粉症の人で考えてみよう。ある人は花粉症でつらい思いをしているので、自分は健康ではないと考えるかもしれない。また別の人は、たとえ花粉症であってもやりたいことが行えているので健康だとする場合もあるだろう。つまり疾患の有無だけで健康を定義するのはいささか無理がありそうだ。一点の曇りもない健康礼賛への傾倒はどこか窮屈である。この機会に「健康とは何か」について考えてみてはいかがだろうか。

### おすすめ書籍

『病いと健康のあいだ』 立川昭二著 新潮社 1991.5 225p 20cm (新潮選書) 900円 ①4-10-600398-8

【目次】なぜ、病いを語るのか、元気と病気の間、医療、この測れないもの、「文化」としての病院、今生は病む生なりき—医療人類学から、えやみの神や花鏡—医療民俗学から、生と死のTOPOLOGY、医と病いのGOODS、痛みを知る、痛みのことば、養生からシェイプアップへ、豊かな社会の見えない病い、病むこと生きること、歴史からみる現代医療、時代の聲音、病いの物音

【内容】自分のからだの具合を挨拶がわりに口にする世界に稀な心性。病いを飼い馴らし、社会生活にとり込む術に長けた日本人の健康観を、過去に現代に探求する。

『「健康」という病』 米山公啓著 集英社 2000.6 222p 18cm (集英社新書) 660円 ①4-08-720040-X

【目次】第1章 半健康ではいけないか、第2章 危険因子はほんとうに危ないか、第3章 ダイエットにおける幻想、第4章 スポーツはからだにいいか、第5章 人間ドックは役にたっているか、第6章 薬は効いているか、第7章 ストレスはからだに悪いか、第8章 健康という欲望

【内容】私たち現代人はなぜ、これほどまで健康に関することに、興味をもつようになったのであろうか。テレビや新聞は毎日、医療問題や健康に関する情報を流し続けている。人間は健康でなければいけないという風潮が、いつのまにか定着した。健康食品を食べ、健康補助薬を飲み、ちょっとでも変わったことがあれば、すぐ医者に行く。しかし人間ドックや健康診断の「要再検査」や、基準値や正常値は、何にもとづいているのであろうか。自己満足のスポーツ、食餌療法がどこまで意味のあるものか。さまざまな調査や医学的事実にもとづいて、新しい健康を考える。

『健康論の誘惑』 佐藤純一ほか著 文化書房博文社 2000.10 243p 22cm (ソキウス研究叢書 1) 3800円 ①4-8301-0922-X

【目次】第1章 不健康な医薬品たちへ—陀羅尼助からのメッセージ、第2章 健康クリーシェ論—折込広告における健康言説の諸類型と培養型ナビゲート構造の構築、第3章 「生活習慣病」の作られ方—健康言説の構築過程、第4章 健康は普遍的か?—多元論的健康を考える、第5章 “健康論”の存立構造—あるいは、不在についての語り、について、第6章 健康言説の政治解剖学—構築分析

から因果論批判へ、第7章 健康の批判理論序説

【内容】人びとを誘惑する健康言説の宇宙。なぜ人びとは健康についてかくも熱く語るのか。現代社会に支配的な「健康論の誘惑」という現象を、医療人類学・社会構築主義そして“健康と病いの社会学”の視点から批判的かつ徹底的に読み解く試み。

『健康ブームを問う』 飯島裕一編著 岩波書店 2001.3 177p 18cm (岩波新書) 700円 ①4-00-430723-6

【目次】1章 健康という幻想—鎌田実氏に聞く、2章 今なぜ民間療法ブーム—渡辺俊介氏に聞く、3章 薬だ〜い好き—水野肇氏に聞く、4章 ああ飽食—相沢徹氏に聞く、5章 感染症の逆襲—清潔志向のなかで—永倉貢一氏に聞く、6章 寝つけない、眠れない—現代社会とリズム障害—高橋康郎氏に聞く、7章 「のぼせう健康寿命」—辻一郎氏に聞く

【内容】過剰なまでの健康志向の高まりのなか、さまざまな健康法や療法があふれ、連日のようにマスコミから健康情報が流される。氾濫する情報に惑わされず、自ら健康とつきあっていくためには何が必要なのか。各分野の専門家へのインタビューを通して、現代人の健康観を問い直し、これからの健康のあり方を模索する。

『健康観にみる近代』 鹿野政直著 朝日新聞社 2001.4 197p 19cm (朝日選書 674) 1100円 ①4-02-259774-7

【目次】1 「健康」の時代、2 「体質」の時代、3 「体力」の時代、4 「肉体」の時代、5 「体調」の時代、6 「生命」の時代

【内容】「体調」不安の時代。この袋小路から、私たちはぬけだせるのか。

『健康ブームを読み解く』 野村一夫[ほか]著 青弓社 2003.7 229p 19cm (青弓社ライブラリー 30) 1600円 ①4-7872-3217-7

『健康の本質』 レナート・ノルデンフェルト著、石渡隆司、森下直貴監訳 時空出版 2003.8 326p 22cm (医学哲学叢書)〈文献あり〉 3500円 ①4-88267-035-6

【目次】第1章 健康の哲学の根本問題、第2章 健康の要素論的理論—生物統計理論、第3章 健康の全体的理論—向けて、第4章 健康を損なう要因、第5章 健康のウェルフェア理論と社会および医学、第6章 健康のウェルフェア理論の結論と要約、補遺 病気の存在論

【内容】健康への関心が高まっている現在、一般の健康ブームのみならず、哲学や医科学のテーマとして、臨床医療の場から、また健康保険の査定、行政での住民の健康維持・促進、社会福祉の標準の決定、精神疾患の判定など、各方面からよく考え抜かれた健康の定義が必要とされている。健康を単に心と身体の問題とせず、行為、能力、環境、目標、幸福etcとからめて社会や政策の視野からも考察した。

『健康ブームの危険な落とし穴—薬剤師からの提言!』 相澤淳、相澤みどり著 文芸社 2007.6 146p 20cm 1200円 ①978-4-286-03025-8

【目次】第1章 健康ブームは危ない!、第2章 薬剤師からの提言、第3章 二十年后も今のまま健康でいるために、第4章 今できること、すべきこと、第5章 長生きの秘訣、最終章 永久に健康を望む

『健康不安の社会学—健康社会のパラドックス』 上杉正幸著 改訂版 京都 世界思想社 2008.9 238p 19cm (Sekaishiso seminar) 2000円 ①978-4-7907-1357-9

【目次】第1部 産業社会における健康(健康観の変化、社会の健康化、健康の社会化、健康と病気の四種類)、第2部 健康不安の時代(果てしなき健康づくり、健康不安の湧出、健康不安の再生産、健康社会における排除と画一化)、第3部 健康不安からの脱出(健康社会のパラドックス、新しい健康観を求めて、疫学研究から導き出される「異常」の意味について)

【内容】実体をもたない「健康」を、生きがいであるかのように求め続けても、得られるのは少しの安心と新たな不安だけ—現代日本社会を「健康社会」ととらえ、そこに内在する矛盾を照射し、不安からの脱却を企図した快作。

『大日本「健康」帝国—あなたの身体は誰のものか』 林信吾、葛岡智恭著 平凡社 2009.8

『ヒトは120歳まで生きられるのか—生命科学の最前線』 田原総一郎著 文藝春秋 2019.10 202p 18cm (文春新書 1235) 800円 ①978-4-16-661235-2

【目次】第1章 ゲノム編集によって世界が変わった、第2章 iPS細胞の開発がもたらしたものの、第3章 iPS細胞による「心不全」治療、第4章 がん治療はここまで進歩する、第5章 遺伝子の改変はどこまで許されるのか、第6章 人はどのようにして百二十歳社会を生きるのか

【内容】ゲノム編集、iPS細胞、デザイナーベビー、ヒトゲノム…名前だけは誰もが知っている生命科学の課題に、日本の最高峰の研究者たちが易しく答える。人間はどこまで変わっていくのか、その時、世の中はどのように変わるのか!?

『人は死んだらどうなるのか—死を学べば生き方が変わる』 加藤直哉著 三和書籍 2019.10 276p 19cm (書誌注記:文献あり) 1900円 ①978-4-86251-392-2

【目次】第1章 死生学研究の扉、第2章 臨死体験、第3章 過去生療法、第4章 過去生を記憶する子供たち、第5章 宗教と科学から、死生学を考える、第6章 死後研究のメリット、第7章 苦しみの答え

【内容】「臨死体験」「過去生療法」「生まれる前の記憶を持つ子供たち」死生学研究で3つの博士号を持つ医師が科学的に答える。

『ニュートン式超図解 最強にわかる!!死とは何か』 田沼靖一監修 ニュートンプレス 2020.4 125p 21cm 900円 ①978-4-315-52224-2

【目次】1 「生」と「死」の境界線(人の「死」を決定づける、三つの特徴、似ているけど全然ちがう、植物状態と死(ほか)、2 死へとつながる老化(脳の老化は、20代からはじまる、加齢によって、神経細胞が崩壊する(ほか)、3 細胞の死が、人の死をみちびく(毎日4000億個の細胞が、死んでいる細胞は、タイムリミットがくると死ぬ(ほか)、4 寿命は有性生殖とともに生まれた(大腸菌には寿命がない、死は、有性生殖からはじまった(ほか))

【内容】人が死ぬとき、体に何が起きる? 死と老化のすべてがわかる1冊!!

### トピック③ 感染症の歴史/総合・パンデミック

【解説】いつかは必ず起こると言われていたパンデミック。2020年、新型コロナウイルス感染症の流行により、ついにそれが現実のものとなった。人類はこの激震を耐え、どのような新しい世界をつくり上げていくのだろうか。人類と感染症との戦いは紀元前に遡る。今こそ歴史に刻まれている感染症対応への教訓を振り返ってみよう。今後の私たちのふるまい方を考えるうえで参考になるはずだ。

#### おすすめ書籍

『コロンブスが持ち帰った病気—海を越えるウイルス、細菌、寄生虫』 ロバート・S.デソウィッツ著、藤田紘一郎監修、古草秀子訳 翔泳社 1999.10 250, 9p 20cm 2300円 ①4-88135-796-4

【目次】新大陸への移動—人類、新大陸への移動—寄生虫と病原菌、コロンブスが持ち帰った病気、アメリカ先住民を絶滅の危機に追いこんだ真犯人は?、欲望という名の奴隷船に乗って—黄熱の襲来、微生物の狩人たち—酸っぱいワインから狂犬病ワクチンへ、イエロージャックとキューバ危機、ロックフェラーの鉤虫撲滅大作戦、ロックフェラーと黄熱との闘い、20世紀のマラリア [ほか]

【内容】コロンブスが新大陸発見の航海から帰港した1493年、ヨーロッパは未知の病に襲われた。局部から全身に広がるじくじくした発疹。やがて視力が失われ、発狂して死にいたる…。15世紀末のヨーロッパに突如出現した「梅毒」は、コロンブスの一行がバハマ諸島の女たちと情熱的な夜を過ごして感染し、旧大陸に持ち帰ったとされる風土病と関連があるようだ…梅毒、ペスト、天然痘、黄熱、鉤虫症、マラリア、そして近年出現した新種の感染症が、国際的な人の流れに乗って伝播するダイナミズムを、物語性豊かに描いたメディカル・ノンフィクション。

『旅と病の三千年史—旅行医学から見た世界地図』 浜田篤郎著 文藝春秋 2002.11

212p 18cm (文春新書) 690円 ④4-16-660283-7

【目次】プロローグ「ペニスに死す」の真相、第1章 旅人と病気、第2章 旅人により運ばれた病気、第3章 古典的旅行医学の時代、第4章 古典的旅行医学の興隆と終焉、第5章 現代の旅行医学の誕生、第6章 現代の旅行医学がめざす医療、第7章 旅行医学と感染症の今、第8章 古典的旅行医学の遺産、第9章 これからの日本に求められること、エビローク 宇宙旅行の時代を目前にして

【内容】大航海時代の船乗りや兵士たちも、病と死の恐怖なしに、異国へと旅立つことはできなかった。歴史始まって以来の大旅行家、アレキサンダー大王が旅の途上で命を落としたのも、たった一匹の蚊によるマラリアのためであったと言われる。時は下って現代、旅の主演は一般市民となり、医学もまた目覚しく進歩した。しかし、無防備に旅立ち、現地で病院に駆け込む人ははいまも多い。逆に持病があっても適切な準備をすれば、旅を満喫できる。豊富な地図とともに、旅と病の歴史を遡り、病気を防ぐ「医学的旅支度」を考える。

『疫病は警告する—人間の歴史を動かす感染症の魔力』 浜田篤郎著 洋泉社 2004.8 238p 18cm (新書y) 760円 ④4-89691-841-X

【目次】SARS流行と疫病の魔力、キリストによる奇跡治療の秘密—ハンセン病、「ハーメルンの笛吹き男」に隠された悲劇の予兆—ペスト、幻の薬・グアヤックを求めて—梅毒、征服者たちの秘密兵器—天然痘、伝説のプラントハンター—マラリア、【レ・ミゼラブル】の陰でうごめく悪魔—コレラ、ホームズを流石に沈めた病—結核、野口英世事故死説—黄熱、ウィルソン大統領の賭け—インフルエンザ、もう一つのホロコースト—発疹チフス、レーガンを動かしたダブルスキャンダル—エイズ、SF小説「復活の日」との恐るべき近似—SARS、疫病の発する人間社会への警告

【内容】われわれは疫病流行の歴史から何を学ぶべきか? 疫病の流行は本当に克服されたのか? 二〇〇三年のSARSの流行を振り返るとき、われわれ人間社会が経験した疫病の縮図を見る思いがする。天然痘が新大陸の抵抗力のないインディオに瞬時に蔓延したように、SARSも世界中に拡散した。その恐怖とそれに伴うヒステリックな社会の対応は、中世のペスト、一九世紀のコレラを彷彿とさせる。またハンセン病やエイズの流行において経験された患者に対する不当な差別も見逃してはならない。これは決して過去の話や発展途上国の話ではない。むしろ生態系のアンバランスが進む現代の先進国が直面する課題である。さて、どうするか。

『人類vs感染症』 岡田晴恵著 岩波書店 2004.12 212p 18cm (岩波ジュニア新書) 780円 ④4-00-500491-1

【目次】序章 エリザベートとハンセン病、第1章 神の仕業から病原体発見へ、第2章 天然痘根絶への道、第3章 ペストの歴史から学ぶ、第4章 身近に迫るエイズ、第5章 風疹と麻疹、第6章 新型インフルエンザの脅威に備える、終章 いのちのあたかき—あとがきにかえて

【内容】紀元前からわたしたちの生命を脅かしてきた天然痘、ペスト、ハンセン病…。これらの感染症に、人類は翻弄されたばかりではない。病原体をつきとめ、治療法や予防ワクチンの開発に奔走した人びとがいた。今度は、新型インフルエンザやエイズなどの新たな脅威に、免疫やウイルスなどの知識を身につけ立ち向かおう。

『疫病と世界史 上』 ウィリアム・H.マクニール著、佐々木昭夫訳 中央公論新社 2007.12 275p 16cm (中公文庫) 1143円 ①978-4-12-204954-3

『疫病と世界史 下』 ウィリアム・H.マクニール著、佐々木昭夫訳 中央公論新社 2007.12 301p 16cm (中公文庫) (書誌注記:年表あり) 1143円 ①978-4-12-204955-0

『細菌と人類—終わりなき攻防の歴史』 ウィリー・ハンセン、ジャン・フレネ著、渡辺格訳 中央公論新社 2008.11 296p 16cm (中公文庫) 857円 ①978-4-12-205074-7

【目次】ペスト、コレラ、腸チフス、その他のサルモネラ症、細菌性赤痢、発疹チフス、淋病、脳脊髄膜炎、ジフテリア、百日咳、ブルセラ症(マルタ熱)、ブルセラ症(マルタ熱)、結核、梅毒、破傷風、ボツリヌス症、炭疽病、ハンセン病

【内容】ペスト、コレラ、赤痢、チフス、ジフテリア、結核、梅毒、破傷風、炭疽菌…。「見えない敵」の存在を、人類はいかに見いだし闘ってきたのか。古代人の鋭い洞察から、細菌兵器の問題まで、感染症の研究に身を投じた学者たちの豊富なエピソードとともに、直観と誤解、発見と偏

【あ】

相澤 淳  
健康ブームの危険な落とし穴 ..... 4

相澤 みどり  
健康ブームの危険な落とし穴 ..... 4

会田 薫子  
医療・介護のための死生学入門 ..... 103  
長寿時代の医療・ケア ..... 133  
延命医療と臨床現場 ..... 138  
高齢者ケアと人工栄養を考える ..... 147

愛知大学  
スポーツと運動 ..... 24

青木 薫  
人はなぜエセ科学に騙されるのか 上巻 .. 188

青木 謙介  
大学生のための健康・スポーツの基礎知識 ..... 25

青木 千里  
病気はなぜ、あるのか ..... 75

青木 歳幸  
江戸時代の医学 ..... 215

青木 智子  
医療と健康のための心理学 ..... 29

青島 周一  
医療情報を見る、医療情報から見るエビデンスと向き合うための10のスキル .. 187  
おもしろ医学論文イッキ読み ..... 187

青田 安史  
こんなときどうする？ 在宅医療と介護 .. 145  
ケースで学ぶ認知症ケアの倫理と法 ..... 147

青山 均  
見てわかる意思決定と意思決定支援 ..... 148

赤林 朗  
ケースブック医療倫理 ..... 137  
臨床倫理学 第5版 ..... 137  
入門・医療倫理 2 ..... 137  
入門・医療倫理 3 ..... 138  
入門・医療倫理 1 改訂版 ..... 139  
医療倫理超入門 ..... 141

秋島 一雄  
健康経営はあなたの会社を強くする！ .... 52

秋田 茂  
人口と健康の世界史 ..... 75

秋葉 賢也  
健康寿命60のヒント ..... 43

アキよしかわ  
日本医療クライシス ..... 207  
医療崩壊の真実 ..... 209

審良 静男  
新しい免疫入門 ..... 62

浅井 篤  
臨床倫理学入門 ..... 137  
臨床倫理 ..... 138  
倫理的に考える医療の論点 ..... 139

朝倉 隆司  
新・生き方としての健康科学 ..... 178

朝倉 哲彦  
外科の足跡 ..... 210

浅原 聡子  
喪失とともに生きる ..... 103

朝日新聞社  
安倍 ..... 168  
相模原障害者殺傷事件 ..... 170  
日本で老いて死ぬということ ..... 208

足達 淑子  
シンプル&ミニマム保健指導・行動変容支援ガイド 第2版 ..... 32

阿藤 通明  
この1冊ですべてがわかる！ 健康経営実務必携 ..... 51

安部 孝  
スポーツでのばす健康寿命 ..... 25  
これからの健康とスポーツの科学 第5版 .. 25

阿部 泰之  
正解を目指さない!? 意思決定⇄支援 ..... 148

阿部 芳久  
障害者排除の論理を超えて ..... 168

天瀬 いちか  
2000年前からローマの哲人は知っていた  
死ぬときに後悔しない方法 ..... 107

天野 ゆかり  
こんなときどうする？ 在宅医療と介護 .. 145

雨宮 処凛  
この国の不寛容の果てに ..... 169  
相模原事件・裁判傍聴記 ..... 169

網野 皓之  
老いと死 ..... 86

雨沢 泰  
白の闇 ..... 130

## 【あ】

明るく死ぬための哲学	93
アクティブ・マインド 人間は動きのなかで考える 新装版	16
アクティブ・ライフスタイルの構築 身体活動・運動の行動変容研究	31
朝型勤務がダメな理由 あなたの睡眠を改善する最新知識	64
朝倉実践心理学講座 9	27
あした死ぬかもよ? 人生最後の日に笑って死ぬ27の質問	105
アシュリー事件 メディカル・コントロールと新・優生思想の時代	163
明日に希望をもてる医療はあるか 新・医療社会学入門	171
新しい免疫入門 自然免疫から自然炎症まで	62
あなたは、なぜ、つながれないのか ラポールと身体知	17
暴かれた地域医療の実像 病院再建を模索した500日間の真実 銚子市立総合病院衝撃の破たんドキュメント	206
アメリカにおけるタバコ戦争の軌跡 文化と健康をめぐる論争	56
怪しい科学の見抜きかた 嘘か本当か気になって仕方ない8つの仮説	189
歩く、走る! のぼせ健康寿命 栄養学と運動生理学で考える「走る、アンチエイジング」	43
アルコール中毒の歴史	218
安全。でも、安心できない…信頼をめぐる心理学	192
安全と安心の科学	191
安全とリスクの心理学 ころろがつくる安全のかたち	193
安楽死を選ぶ オランダ・「よき死」の探検家たち	159
安楽死を遂げた日本人	160
安楽死を遂げるまで	159
安楽死か、尊厳死か あなたならどうしますか?	160
安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと	160
安楽死・尊厳死の現在 最終段階の医療と自己決定	160

安楽死で死なせて下さい	159
-------------	-----

## 【い】

医学概論	131
医学概論 医学のコンセプトと医療のエッセンス	132
医学教育の歴史 古今と東西	212
医学全史 西洋から東洋・日本まで	213
医学哲学はなぜ必要なのか	131
医学と哲学の対話 生—病—死をめぐる21世紀へのコンテクスト 改訂版	131
医学とはどのような学問か 医学概論・医学哲学講義	133
医学の近代史 苦闘の道のりをたどる	211
医学の哲学 増補、オンデマンド版	131
医学の歴史	210
医学の歴史 歩みを担った人たち、そして体制	212
医学の歴史大図鑑	212
医学は歴史をどう変えてきたか 古代の瘞やしから近代医学の奇跡まで	211
いかにして抹殺の〈思想〉は引き寄せられたか 相模原殺傷事件と戦争・優生思想・精神医学	169
胃癌外科の歴史	218
生きたかった 相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの	167
イギリスの医療制度改革 患者・市民の医療への参画	205
生きる大事・死ぬ大事 死を通して見えてくる幸せな生き方	85
「生きるに値しない命」とは誰のことか ナチス安楽死思想の原典からの考察 新版	167
医系免疫学 改訂15版	61
「医師アタマ」との付き合い方 患者と医師はわかりあえるか	38
“意識高い系”がハマるニセ医学が危ない!	186
意思決定支援実践ハンドブック 「意思決定支援のためのツール」活用と「本人情報シート」作成	148
医師の一分	38
医師の不足と過剰 医療格差を医師の数から考える	50
医師崩壊 日本の医療を救う	207

## 編者略歴

### 結城 俊也（ゆうき・としや）

23年間にわたり千葉中央メディカルセンターに勤務。現在、都内の障害者施設に勤務しながら、図書館等において医療健康講座を開催している。専門理学療法士（神経）、介護支援専門員、博士（医療福祉学）。著書に『医療福祉のプロがすすめる 孤独・社会的孤立・つながりを考える 1000冊』（日外アソシエーツ、2020）など。共編に『リハビリのプロがすすめる健康寿命を延ばす 1000冊』（日外アソシエーツ、2018）などがある。

---

## 医療福祉のプロがすすめる 人生100年時代の「健康」を問い直す 1000冊

---

2021年4月25日 第1刷発行

---

編 集／結城俊也

発 行 者／山下浩

発 行 行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

---

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

---

不許複製・禁無断転載  
〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉

〈中性紙三変クリームエレガ使用〉

ISBN978-4-8169-2873-4

Printed in Japan, 2021